

ごあいさつ

聖栄会会长
荻野 薫子

聖栄会だより

人としてあたりまえの、あいさつや礼儀を守り、常に健康に気をつけ、有意義な学生生活を送ってほしい。

聖栄会の皆様の中で、管理栄養士国家試験を受験される方が多いと伺いました。東京都に在職中、教育庁の講習会を受けましたが、現在は無く、日本栄養士会で年、二回位講習会があるとのことです。聖栄会でも何かよい方法がないかと思いますが、早急にはいかず、聖栄会もインターネットが開設されましたので、お待ち致しております。

聖栄会協賛の恒例の「餅つき大会」と昨年より地域とのつながりをもつて、お抹茶とウーロン茶の席を設けて、お待ち致しております。

聖栄会と母校の発展を願い、皆様

の御活躍と御健康をお祈り致します。

聖栄会の皆様の中では、管理栄養士

国家試験を受験される方が多いと伺

いました。東京都に在職中、教育庁の講習会を受けましたが、現在は無く、日本栄養士会で年、二回位講習会があるとのことです。聖栄会でも何かよい方法がないかと思いますが、早急にはいかず、聖栄会もイン

ターネットが開設されましたので、

皆様の御意見を頂き、検討し、ネットに掲載したいと思います。東京聖

栄大学の情報も見て頂きたいと思

います。頑張って下さい。苦しみの後

には、すがすがしさが待っています。

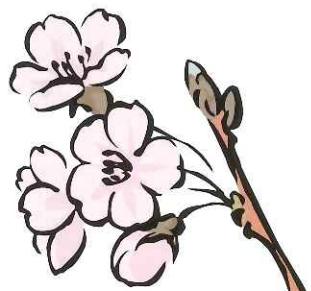
昨年の総会で申し上げましたが、

今年は、学校法人オリムピア学園創立六十周年記念式典が五月三十一日(木)に行われます。詳しい事は、インターネットに掲載いたしております。

同窓生の皆さんへ

理事長・学長

福澤美喜男



「聖栄葛飾祭」開催される

東京聖栄大学としての初めての大学祭が開催されました。大学祭の正式名称は公募により、大学の「聖栄」と地元「葛飾」をあわせた「聖栄葛飾祭」を正式名称としました。今年度のテーマは「食と地域のコミュニケーション」で二日間に亘り盛大に執り行われました。

(写真は正門前と学生によるサンデークリッキングの様子)



昨年は、記録的な豪雪、豪雨になり、梅と桜が一緒に咲き、長い梅雨が明けると、その穴埋めをするかのように暑くなり、厳しい暑暑にも苦しめられ、又、竜巻は外国の話とと思っておりましたら、十七件もありました。師走に紅葉が見られ、今年の一月は観測以来最高の暖かさとのことでした。桜の開花も、史上、一番目に早いと報道されました。これも、地球温暖化により、農漁業等への影響が加速していると発表されました。先駆の現象なのでしょうか、今後が思いやられます。聖栄会会員の皆様、如何にお過ごしのことでしょうか、御案じ申し上げます。

東京聖栄大学も開学して、早、二年になります。今年は第三期生を迎えます。学長先生の昨年の入学式の式辞は、幅広い知識を身につけるように。教育基本法が制定されました。専門教科の基礎をしっかりと学ぶ事。食の安全性、食生活のありかたについて学び、規則正しい食生活を守り

今年の総会も、学内の多目的ホールにて行います。役員改選の年なので、特に、皆様お誘いあわせの上、御出席をお願い申し上げます。

第十八回食文化研究会は日本料理

立六十周年記念式典が五月三十一日(木)に行われます。詳しい事は、インターネットに掲載いたしております。

今年は暖冬のせいいかこの新聞が発刊される頃には桜も満開になつていることも予測されます。同窓生の皆様方にはお変わりなく日々ご活躍のことと拝察しております。

さて、学校法人オリムピア学園は同窓会、後援会から推薦された委員会で構成される「学校法人オリムピア

学園六十周年記念事業準備委員会」を立ち上げ、記念事業の為の募金活

動と記念事業を企画し、本年五月三十一日の創立記念日にささやかな記念式典を行う予定にしております。

聖栄会の一環として今年は盛大に行いますので、例年よりもはるかににぎやかになると思います。同窓生の皆様も是非この機会に母校を訪れて下さい。お待ちしております。

話が変わりますが、大学も三年目を迎える新しい教育を取り入れられ

てきました。例えば、食品学科では

一年次の夏休みに、全員がフィールド研修を実施し、学生相互の親睦を図りながら、食品について学ばせる

ことや、海外食事情の見聞をひろげ

るために研修旅行を行いました。参

加した学生にとって有意義な研修旅

行であったようです。

管理栄養学科では、管理栄養士国

家試験の一〇〇%合格を目指して、

これまでの夏休みに、全員がフィールド研修を実施し、学生相互の親睦を図りながら、食品について学ばせる

ことや、

平成十八年度定期総会開催

平成十八年度同窓会総会が、六月四日（日）、東京聖栄大学に於いて開催されました。

森氏（専二）の開会の挨拶で始まり、荒木氏（短九）と浦野氏（短十二）が議長に選出され、議事に入りました。

荻野会長（専二）より次のような挨拶がありました。

「聖栄会の歴史を辿つてみますと方で創立されました。昭和二十九年四月に聖徳栄養専門学校が開学され、九年間ののち、昭和三十八年の四月に聖徳栄養短期大学となりました。

今年の二月で四十一期生が最終となりました。聖栄会は会員三十八名から始まり、現在は一万四千八百七十二名となり、大きな組織となりました。ご協力をよろしくお願い致します。

また学校法人オリムピア学園創立六十周年記念式典が、来年の五月に行われるそうです。学園創立記念日には渡邊正助先生と渡邊富久子先生のレリーフが製作される予定です。それが渡邊記念館に掲げられるということです。そのため皆様の記念寄付をお募りする所存です。その時はよろしくお願い致します。

引き続き、報告、議事と進行されました。

吉田氏（短三十八）



第十八回 食文化研究会

第十八回食文化研究会は、下目黒にある目黒雅叙園に、二十四名の御参加を頂き、日本料理渡風亭にお

参入を頃、日本料理渡風亭にお

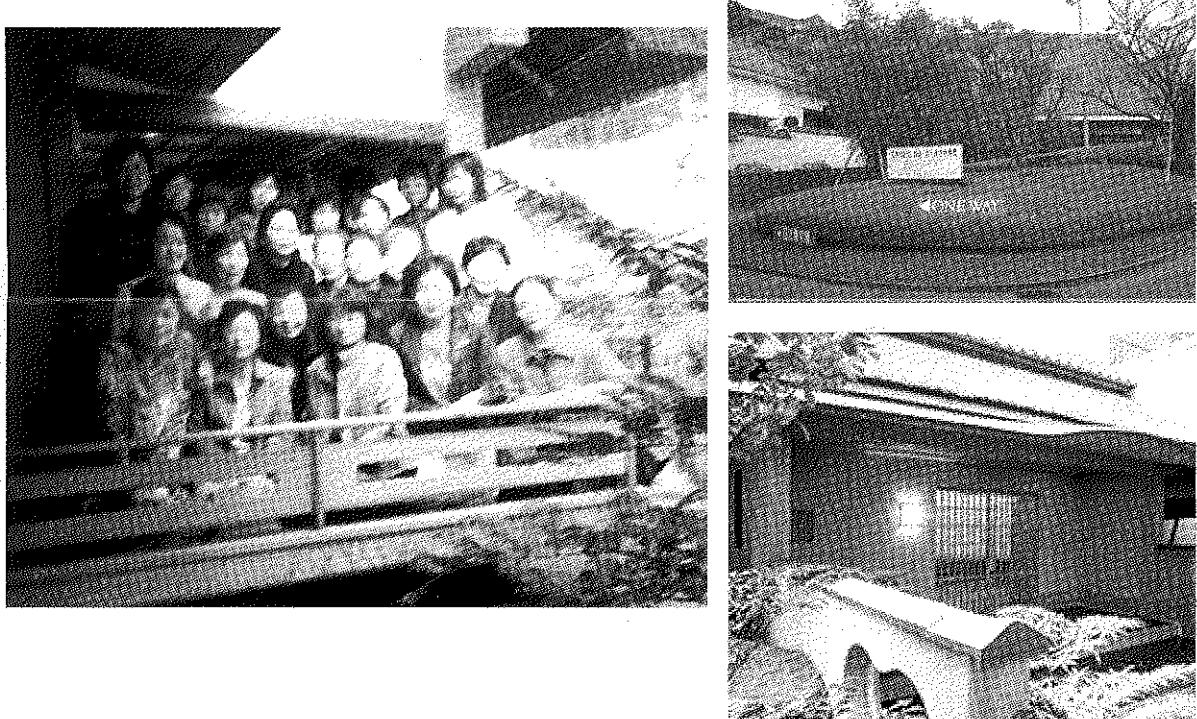
いて開催されました。加藤料理長に

から平成十七年度事業報告、中尾氏（短三十七）から十七年度会計報告があり、会員の拍手を以つて承認され、総会は終了し、引き続き懇親会が行われました。

（短三十七）から十七年度会計報告があり、会員の拍手を以つて承認され、総会は終了し、引き続き懇親会が行われました。

（短三十七）から十七年度会計報告があり、会員の拍手を以つて承認され、総会は終了し、引き続き懇親会が行われました。

（短三十七）から十七年度会計報告があり、会員の拍手を以つて承認され、総会は終了し、引き続き懇親会が行われました。



平成十九年度定期総会開催のご案内

平成十九年度定期総会ならびに懇親会を左記の通り開催いたしますのでご出席ください。

記

◎日 時 六月三日（日）

総会 十一時から
懇親会 十二時から

◎会場 東京聖栄大学会議室
懇親会費 1000円

なお、総会終了後に大学内多目的ホールにて懇親会を開催いたします。皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。
(同封のはがきでお申し込み下さい。欠席の場合でも必ずご投函願います)

第十九回 食文化研究会開催のご案内

本年度の食文化研究会は北イタリア料理を取り上げ、その特色や

調理法などを学びます。ご指導いただきま

す。西口シェフはイタリア・ロンバルデア地方で修業をされ帰国後「ヴォーア・コズイ」をオーブンされました。

西口氏は北イタリアの伝統料理を、東京で再現することをテーマとされています。東京ではなかなか食べることの出来ない自家製のコテキーノなどもコースの中に組み入れ、食文化研究会のオリジナリティで西口シェフの北イタリア料理を楽しみたいと思います（北イタリア料理についての解説付）。

幹事・荒木（短九）、川島（短九）、浦野（短十二）



記

日時 十月十四日（日）

会場 東京白山「ヴォーア・コズイ」
会費 600円

定員 二十六名（先着順）

参加ご希望の方は東京聖栄大学食品学第二研究室荒木までご連絡下さい。

お申し込みいただいた方には詳しい資料をお送りいたします。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

電話 ○三一三六九二一〇二一一一
(内線一四五)

同窓生通信

【頼れる先輩】になるために

短大四十一期 澤 圭成

事中はいつも厳しく、毎日色々な事を注意されますがそこから学ぶ事も多くあります。

「千葉県茂原市・長生郡」内の聖栄会を立ち上げて

短大十一期

中田とみ子（旧姓 石川）



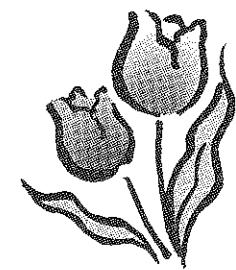
私は平成十年の冬に、後輩の鈴木恵子さん（短大二十六期）と、同期の渡辺恵美さん（旧姓 石塚 短大十一期）と共に、茂原長生地区聖徳卒業生の会を発足することができます。

そのきっかけは、平成十年秋の「茂原市健康づくりの集い・食生活展」に参加した折に、「母校の地元卒業生の会を作りたいね」という一言でした。さっそく、その会場にいた先輩の近藤みち子先生（専門一期）に相談したところ、賛同を得ることが出来ました。その後、聖徳栄養短期大学創立五十周年記念の名簿を発刊した直後でもあり、その名簿を基に茂原市・長生郡に在住の同窓生に連絡を取ることから始めました。

第一回目は、十五名位の同窓生が集まることができ、それぞれ喜んでいただける結果となりました。それを機に毎年同窓会を行い、次年度の幹事と開催日を決めておきます。そして、隨時聖徳の卒業生とわかつた人には、参加を呼びかけております。

茂原・長生地区の聖栄会は、すでに退職された方、病院・学校・老人福祉施設・保育所・行政に勤務している同窓生が集まり、一年間の近況報告など、ひとりずつお話を聞いております。職場での経験や情報を交換することは、とても勉強になります。興味深いこともあります。

学および聖栄会のご発展を心よりお祈りいたします。



二十代から七十代の同窓生が集まり、毎年和やかな時間を過ごすことができるのは、とても幸せなことがあります。

私は、学生の頃から、「食」にとても興味があり、母校に入学しての二年間は、楽しい学生生活を送ることができました。卒業後は、千葉大医学部附属病院・同仁会で四年間勤務致しました。その後、専業主婦として子育てをする生活を送つておりましたが、平成二年に病院栄養士として復帰し、市内の病院で管理栄養士として働いております。

現在私は、長生保健所管内栄養士会（茂原市・長生郡の保健所管内）三世代目会長をさせていただいておりましたが、聖栄会でのネットワークもあり、先輩の二代目会長近藤先生から、バトンを引き継ぐことができました。

これからも、茂原市・長生郡地区の同窓生のネットワークを広げながら、お互いの力になつて行けるよう努力したいと思つております。

短大で学んだ栄養の知識と、高校で得た調理師免許の両方を生かせる仕事ということでこの仕事を選んだのですが、まだまだ未熟で見えなくはないことが沢山あります。

主な仕事の流れとしては、まず、納品された品物の検品や、野菜の下処理、切菜をします。

それが終わると、本格的な調理が始まります。やはり作る量が膨大で、しかも大きな回転釜やオーブンなどの機材を使用するので、気を抜くと火傷などの大けがをしてしまうた

め体力と集中力が必要になります。

また、大量調理は時間との勝負でもあり、作業行程をしつかり把握しておかないと、一つの作業が遅れるだけで全体にも遅れが出てしまいます。そのため、チームワークもかなり重要です。僕も初めは作業の流れが全くつかめず、足を引っ張ることが多くかったのですが、最近はようやく理解できるようになりました。

午後は子供達が使った食器を片付けたり、残菜のチェックなどをします。残さず食べてきてくれたときは、「沢山食べてくれたな、頑張った甲斐があった」と、嬉しくなります。

また、たまに手紙を書いてくれたときは、「と、言ってくれる子もいます。そんな時も、「子供達のためにこれからも頑張ろう」という気持ちにな

ります。

僕は現在、(株)大新東ヒューマンサービスという給食会社に入り、新小岩の小学校で調理師として勤務しています。

日々は今でも鮮明に覚えています。

僕は現在、(株)大新東ヒューマンサービスで職場の雰囲気を和ませてくれます。

そんな方達に支えられて、辛い事も苦しい事も乗り越えることができます。

卒業して早二年、短大で過ごした



ヨーロッパ研修 実施される

食品学科の学生を対象にヨーロッパ研修が昨年九月に実施されました。イタリアではパスタの歴史を学びピザ作りに挑戦、パリでは有名食材店を見学し、新鮮食材の宝庫である朝市の見学もしました。フランス、イタリアの両国の食文化や料理などを学ぶことが出来た充実した八日間でした。

(写真は地元のテレビ局の取材を受けている在校生)



体育祭

五月晴れの中、体育祭が行われました。今年は男子学生も増え、大盛り上がりの体育祭でした。



■オープンキャンパス日程予定 ■受験相談会日程

19年度		19年度	
第1回	7/21(土)	第1回	9/22(土)
第2回	7/28(土)	第2回	10/13(土)
第3回	8/24(金)	第3回	11/10(土)・11(日)
第4回	8/25(土)	第4回	12/1(土)
		第5回	1/12(土)

※お問い合わせは 電話03-3692-0238 入学相談室まで

パン同好会 サークル紹介

発足してから一年足らずのパン同好会ですが、十一月の大学祭ではクロワッサン、デニッシュを作りました

た。月一回の活動でこれまで動物パン、メロンパン、フランスパンなど約十種類のパンを作りました。今年の大学祭ではおいしいパンを作つてお待ちしております。

農の喜びに触れる



農の喜びに触れる

杵原応援団の畠で大学生ジャガイモ収穫

食品加工を学ぶ東京都の大学生ら36人が8日、飯田市山本の有志団体「杵原学校応援団」が管理する同市箱川の畠を訪れ、ジャガイモの収穫を体験した。食を広く学ぶ研修の一環初めての農業体験に興いながらも収穫の喜びに触れた。

訪れたのは東京農業大学健康栄養学部食品学科1年生。畑に触れた機会の少ない都會育ちの学生が多いことから、食の原点である農を知る目的で研修に参り込み、同所と高木村に分かれて行った。

山本を訪れた36人は、本校の運営で畠の所有者からジャガイモの質や栽培過程などを説明を受けた。このあと畠に移動し作業を開始。初

めてジャガイモを収穫したという畠内す美さん(19)は、「学校では成分分析が多いけど、そこを握って、など実際に握ったときの原理で使いたい」と話す。

山本を訪れた36人は、山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、

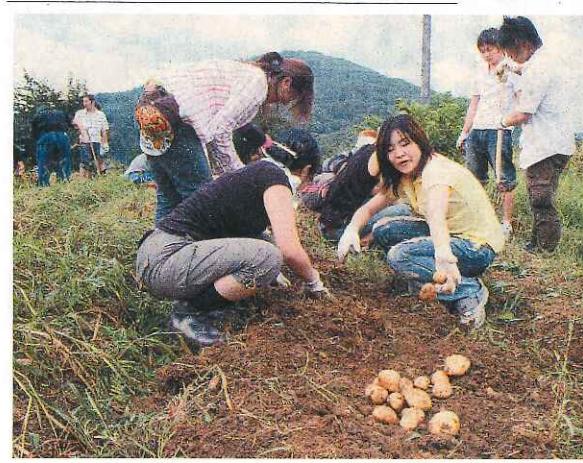
山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、

山本を訪れた36人は、



ジャガイモを握る学生ら(飯田市箱川の畠で)

南信州新聞(2006年8月10日)

キャンパス通信

一年生のフィールド研修